

「上菅田小学校・笹山小学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会 ニュース

発行日：平成29年6月26日
第2回検討部会
日時：平成29年6月5日（月）
10時30分から
会場：上菅田中学校 図書室

◆ 第2回検討部会での決定事項など ◆

- 事務局から新たな通学区域変更案や学校統合する場合の使用校舎及び通学区域の案を提示しました。また、笹山小学校の学校規模の適正化を図るためには、通学区域の変更では困難であり、両校の将来的な学校統合が望ましいと提案しました。
- 各所属団体からは、将来的な両校の学校統合を見据えて、上菅田町の新しい学校づくりを考えていく必要があるとの多くのご意見をいただきました。
- 一方で、通学区域変更案での対応や学校統合への反対、学校統合する場合の通学距離などへの配慮が必要とのご意見もありましたので、第3回検討部会で、改めて通学区域変更案や学校統合案を検討し、決定することとなりました。



1 笹山小学校の学校規模の適正化に向けた検討案

第1回検討部会での各委員からのご意見等を踏まえ、新たな通学区域変更案（検討案6）と学校統合する場合の使用校舎や通学区域の案（検討案5の補足説明）を提案しました。

検討案6 笹山小学校を通学区域特認校[※]とし、今後の住宅開発を笹山小学校の推計値に反映する場合

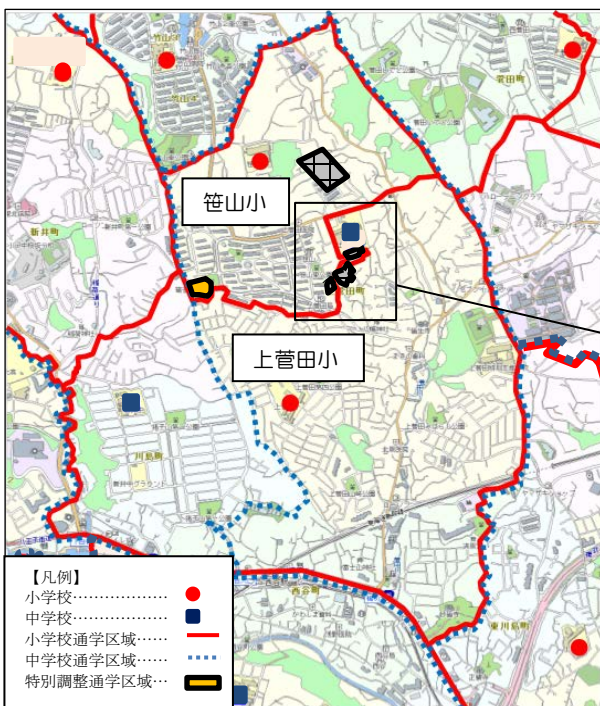
- 笹山小学校の学級数は6学級のままで、12学級以上の適正規模にならない。
- 通学区域特認校は、通学区域外から児童が通学するため、通学安全面の対応を検証する必要がある。

笹山小学校	H29	H30	H31	H32	H33	H34	普通教室数
児童数	84	130	130	134	145	146	16教室
学級数	6	6	6	6	6	6	

※29年度は29年5月1日現在の実数値、それ以降は28年度義務教育人口推計による推計値（一般学級のみ）。

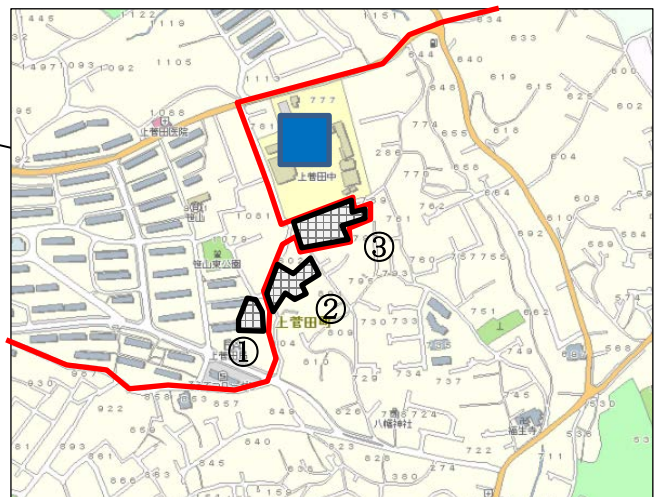
※笹山小学校を30年度から通学区域特認校に指定し、年5名（実績値の最大人数）ずつ入学すると仮定し、今後の住宅開発は29年度入居とし、30年度の推計から反映。

※通学区域特認校とは、「パイオニアスクールよこはま」（新たな取組に挑戦し、時代に応じた教育の実現や地域の特性に応じた教育等を提供するモデル校）の指定を受けた実績がある学校の中から、教育委員会が指定しています。



<今後の住宅開発>

- ①上菅田郵便局隣接地（戸建住宅12戸）
 - ②上菅田中学校付近（戸建住宅17戸）[※]
 - ③上菅田中学校付近（戸建住宅20戸）
- ※②は、笹山小学区に隣接する上菅田小学区



2 笹山小学校の学校規模の適正化に向けた検討案

横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針（抜粋）

小規模校の問題を解消し、教育環境を改善するとともに、効果的・効率的な学校経営を行うために、地域と十分に調整を図り、保護者・地域住民の理解と協力を得ながら、通学区域の変更等を行い学校規模の適正化を推進する。

また、通学区域の変更・弾力化等が実施できない場合や実施によっても小規模校が解消しない場合については、学校の統合について検討を進めることとする。



笹山小学校と周辺校との通学区域の変更等を検討

《通学区域の変更等による学校規模の適正化について【笹山小学校】》

- 笹山小学校の周辺校としては、上菅田小学校、新井小学校、菅田小学校、竹山小学校がありますが、上菅田小学校以外は、34年度の推計期間中に11学級以下の小規模校となる見込みであり、通学区域の変更等が難しい状況にあります。
- 上菅田小学校の通学区域の一部を笹山小学校の通学区域に変更し、12学級以上となる適正規模校とするためには、現在よりも通学距離が長くなる地域を多数含めて変更しなければ実現することはできません。
- 以上の理由から、笹山小学校については、通学区域の変更等による学校規模の適正化は難しいと考えています。



事務局としての考え方

- **笹山小学校の学校規模の適正化を図るためには、両校の将来的な学校統合が望ましい。**

検討案5（学校統合案）の補足説明 上菅田小学校と笹山小学校が将来的に学校統合する場合

- 学校統合する場合は、上菅田小学校、笹山小学校の両校を閉校し、新たに統合校を開校することになります。
- 学校統合に伴って検討すべき事項としては、①使用校舎②通学区域③施設整備④統合時期⑤学校名案⑥通学安全対策などがあります。

① 使用校舎	上菅田小、笹山小のどちらの校舎を使用するか検討します。
② 通学区域	統合校の通学区域を検討します。
③ 施設整備	学校統合に伴い、児童の受入れに必要な施設整備を検討します。
④ 統合時期	施設整備や交流に必要な期間等を踏まえ、統合時期を検討します。
⑤ 学校名案	統合校の学校名案を検討します。
⑥ 通学安全対策	統合校に必要な通学安全対策を検討します。

■基本情報

	上菅田小	笹山小
開校年度	S38（54年目）	S48（44年目）
親校	川島小	上菅田小
建築基準年	S40年度（築50年）	S47年度（築43年）
用途地域	第1種低層住居専用地域	なし（市街化調整区域）
校地面積	16,859 m ²	13,833 m ²
グラウンド面積	4,664 m ²	2,564 m ²

使用校舎（案）

「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」では、適正な通学距離について、徒歩での通学を前提に、小学校では片道おおむね2km以内、中学校では片道おおむね3km以内と定めています。

上菅田小学校校舎を使用する場合、現笹山小学区の中で、最大約1.9kmの通学距離となる地域がある一方、笹山小学校校舎を使用する場合、現上菅田小学区の中で、最大約2.4kmの通学距離となる地域があります。通学距離が横浜市の基本方針の基準内に収まり、校地面積も広い、現上菅田小学校校舎の使用が望ましいと考えます。

統合校の通学区域（案）

笹山小は上菅田小から分離新設した経緯があること等から、上菅田小と笹山小の両校の通学区域を合わせた通学区域を基本とすることが望ましいと考えます。ただし、統合校の通学区域が広がることから、通学距離等に配慮して周辺校との特別調整通学区域※の設定についても併せて検討することが望ましいと考えます。

※特別調整通学区域とは

指定校のほか、受入校として指定された学校のいずれかを希望により自由に選択できる区域

3 主な質問や発言

第1回部会で事務局から提示した通学区域変更案や学校統合案等を踏まえ、各所属団体にて集約した意見を発表していただきました。

（凡例 ☆：各委員からの発言 ⇒：事務局より説明）

- ☆ 小学校に通う子どもたちは同じ地域であることが前提だと思うので、上菅田地域の中で、どうすれば子どもたちにとって良いかを考えていくのがいいと思います。
- ☆ 検討案4では、新幹線のガード下まで通学区域の変更対象に入っていますが、そこまで変えてしまうと、子どもたちが学校に通うのに負担になると思います。
- ☆ 子どもたちについてもそうですが、保護者の負担についても加味しなければならないと思います。大人数だからできることが、笹山小ではできていないこともあります、その逆もあると思います。
- ☆ 学校にはそれぞれ長所や、短所がありますので、笹山小を無くしてほしくないというのが率直な感想です。そうはいつでも、どうにかしなければいけない状況で、上菅田地域の中で、皆さんが仲良くしていくにはどうすればいいのでしょうか。
- ☆ もし統合となった場合、上菅田中学校に1つの小学校からそのまま進学するので、子どもたちの目線からすると、中学校で新たな友を得る魅力が薄れてくるのではないかと思います。
- ☆ 統合も良いかとは思いますが、過去の統合では、通学に時間がかかるようになってしまった、という話を聞きました。統合となれば、そういう点も、子どもの目線になって考えてあげたほうが良いと思います。
- ☆ 通学区域を適正な学校規模になるような区域で区切り、新1年生から適用して、何年後かには同じ規模になるようにするのが良いと思います。
- ☆ 現状のままが良いのではないかというご意見もありますが、現実はその簡単にいかない部分もあります。仮に統合する場合、今の上菅田小学校の校舎を利用するならば、笹山小学校の子どもたちの通学距離も考えなければいけないと思いますので、そういった配慮をきちんとしていただく必要があると思います。
- ☆ 笹山小学校側、上菅田小学校側それぞれの考えがあると思います。通学距離の話が出ましたが、一番大事なのは子どもの安全、安心が守れるかということです。また、もし統合することになった場合、自分が通っている学校の名前がなくなったときに、どうなのかと思いますが、子どもたちは、大人が考えているよりも、自分の力で環境に適応できると思います。

- ☆ 笹山小学校は地域防災拠点にもなっており、コミュニティハウスもあります。そのため、私はできるだけ笹山小学校を残してほしいと思っています。
- ☆ 笹山小学校に通っておられる方たちに聞くと、お子さんたちは非常に満足されています。横浜市外では、1学年1学級の学校はたくさんあると思います。でも、横浜市では、横浜市の基準に基づかなければいけないことはやむをえないと思いますし、一つの見通しとして、横浜市教育委員会が作った案は尊重するのですが、上菅田町がこれからどのように発展していくのかを考え、できれば笹山小学校を残していただきたい、というのが住民の思いです。ただ、残せないということであれば、統合という方向性で検討したいと思います。
- ☆ 「適正化とは何か」ということについて、住民の方々が理解されていない部分があるので、より詳細な説明が必要だと思います。今後の日本の人口統計を考えると、いずれ子どもは減るので、このエリアの中で複数の学校があることが困難になる時代が必ず来ると思います。もし学校を一つにすることになれば、それぞれの学校の歴史や風土など、今までの経緯を真っ白にして、まったく新しいものをつくるという考え方でまとめたほうが受入れやすいと思います。
- ☆ 学区調整の検討案については、1～4案ありますが、非常にまとまりにくいのではないかと思います。子どもの観点からすれば、人間関係、人格を高めていく6年間の中で、大勢の中で揉まれることも一つの教育だと思うので、この学校規模の適正化を進めていったほうがよいと思います。そこで、地域住民である私たちが地域に開かれた学校をつくっていきたいと思います。
- ☆ この会議は、子どもたちが検討の中心だと思います。これからの上菅田町、これからの日本を背負って立つ子どもたちの教育を考えると、上菅田町に保土ヶ谷区のモデル校をつくれればよいと思います。そのためには統合して、両方の学校が閉校して新しい学校をつくるという形になるかだと思います。その次の段階の議論としては、子どもたちが本当に安心して通えるような学校について検討するべきだと思います。
- ☆ 統合することに対して、絶対に反対ではありませんが、もうしばらく住宅開発も含めたうえで様子を見てはどうかと思います。
- ☆ 将来、新しい学校をつくるという観点で、統合した場合にはどういうプランがあるのかなということを、議論していきたいと思っています。

3 検討部会に寄せられた主な意見・質問

- (1) 笹山小の通学区域を広げる検討案が採用された場合でも、きょうだいは別々にならないよう配慮してほしい。
- (2) 遠い小学校に通わなければならないような検討案は受け入れることはできない。竹山小学校や菅田小学校と笹山小の通学区域を調整することはできないのか。
- (3) 笹山小学校を残してほしい。
- (4) 会議はなぜ非公開なのか。上層部だけで勝手に決められてしまうことに疑問を感じる。通学区域が変わっても、子どもを安心して通わせられる措置を必ず取ってほしい。

◆第3回検討部会について

日 時：平成29年7月10日(月)10時30分から

会 場：上菅田中学校 図書室

検討内容：学校規模適正化等について

◆傍聴について

会議は非公開とすることを決定しました。

◆「上菅田小学校・笹山小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の経過等について

部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからもご覧になれます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/20170418122655.html>

◆事務局(お問い合わせ先)

広く皆さまからのご意見やご質問を受け付けております。

ご意見やご質問は、EメールまたはFAXにてお願いいたします。

横浜市教育委員会事務局学校計画課

Eメール：ky-hodogaya2017@city.yokohama.jp

FAX：045-651-1417

TEL：045-671-3253

